

# 令和元年度 第1回宗像市男女共同参画推進懇話会 議事録（要旨）

日時：令和元年7月22日（月） 15時00分～16時30分

場所：宗像市役所北館 201会議室

出席者（敬称略）

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
石山 さゆり	○	井川 春奈	欠	蟹川 美和	○
小森 雅子	○	八尋 照代	○	高山 芳文	欠
山田 雄三	○	永嶋 久子	○	占部 圭司	○

## 1 はじめのあいさつ

宗像市男女共同参画推進課長 白木晋一郎

●=事務局 ○=委員

## 2 委嘱状交付

【配布資料】・宗像市男女共同参画推進懇話会 名簿

蟹川委員（前任者の退職に伴う人事異動。平成31年4月23日付け）

## 3 議事録署名人選出

○本来なら井川春奈委員だが、本日欠席のため八尋照代委員にお願いする。

議事録署名人： 八尋 照代 委員

## 4 議事

### （1）平成30・令和元年度スケジュールについて

●平成30年度について、懇話会でまとめた意見書を3月28日に会長、副会長が伊豆市長へ提出し、懇談を行った。その時の様子は広報紙に掲載済み。

令和元年度について、第1回（本日）は平成30年度の市の事業実施報告、並びに平成30年度に実施した市民意識調査の結果説明を行う。

今年度は、第3次プランの策定に向け検討を進めるため、次回以降に懇話会を4回開催する予定。（今後は2ヶ月に1回のペースで開催予定）

○今年度は、2ヶ月に1度の開催になるが、委員の方はなるべく都合を付けて出席をお願いする。

※質疑なし

### （2）男女共同参画に関する市民意識調査について

●資料より要点のみ説明

#### I 調査の概要

##### 3. 調査の性格（P 1）

#### II 調査結果の分析

##### 第1章男女の地位、役割について

・図1-3（P 16）、図1-4（P 17）、図1-5（P 19）

##### 第2章家庭生活について

・1. 家庭内の役割分担「傾向」（P 23）、表2-1（1）（P 28）、表2-1（2）（P 29）

##### 第4章就労・働き方について

・1. 女性の働き方（1）理想の働き方「傾向」（P 45）、（2）現実の働き方（傾向）（P

47)、図4-3(P 50)

第5章地域活動や社会活動への参加について

- ・2. 女性が役職につくことについて考える(1)地域の役職に推薦された場合の対処「傾向」(P 60)、(2)地域の役職を断る理由「傾向」(P 62)
- ・4. 災害の備えについて考え方「傾向」(P 67)

第6章ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

- ・表6-1(P 72)

第7章暴力などの人権侵害について

- ・1. ドメスティック・バイオレンスについて(2)ドメスティック・バイオレンスの内容「傾向」(P 81)

- アンケートの実施は5年ごとなのか。
- 5年ごとに大規模調査を実施している。
- 自由記載にはかなり厳しい意見が書かれている。
- アンケートに記入されたものは全て記載している。
- 自由記載を見ると色々な考え方があるのが分かる。「男女共同参画」の言葉は知っているし意味も大まか理解しているが、「言葉がひとり歩きしているのではないか」という指摘、感想が随所に見受けられる。地域社会の中での自治会の仕事や家庭内の仕事、いずれも変わらないところは変わっていないが、別の方向を向いて言葉だけがそれぞれの場に落とし込まれているという感覚を持った市民が、どの世代、性別にも見受けられる。浸透と概念の場面場面の活かし方が難しいと感じた。
- その通りである。子ども達も学校と地域で違うという事へ戸惑いがあるようだ。昨年も各地区コミュニティを回り話を聞いたが「男がやるもの」という考え方が根強く残っている地域もある。男女共同参画を理解し、考え方を変えてもらえるよう努力はしているが、表面だけで地域にまで入っていけないのは感じている。
- 男女共同というのは少しずつ理解されて来ているが、活動内容までは理解されておらず、「他が行っている事業と同じだ」と言われることがある。他と違う事を説明するが、理解してもらうのは難しい。市からも地域コミュニティへ説明等してもらっているが、役員が分かっているないので説明を聞いても理解してもらえない。役員を稀に2年される人もいるが、役員任期はほぼ1年のため、なかなか浸透しない。その事も原因の一つと考えている。元々が役員のなり手がいないという事が根本にあるので、役員のあり方について今後見直していく必要があると考える。男女共同参画を広めるには相当な努力が必要に思う。
- 地域の役員には任期が1年の方や高齢者の方もいて、浸透させるのが困難な現状が見えてきた。
- 男女共同だけでなく他の事も同じ。

(3) 第2次男女共同参画プラン実施報告及び目標設定について

提出締切： 8月 30日(金)まで

- 資料(H30年実績報告)より重点(実施状況報告)のみ説明

## 資料訂正箇所

- \*P 3 【事業番号8】 実施状況報告『誤) 平成31年1月末までの ⇒ 正) 削除』  
【事業番号9】 実施状況報告『誤) 交流室 237 人(女性 14,283 人)、子育て講座等 42 人(女性 937 人) ⇒ 正) 交流室 297 人(女性 8,957 人)、子育て講座等 47 人(女性 297 人)』
- \*P13 【事業番号43】 実施状況報告『誤)90 件 18,381 千円 ⇒ 正) 106 件 20,351 千円)

## 要点説明(平成30年度新たに取り組んだ事業)

- \*P 1 【事業番号3】 相談支援事業の実施 【担当課】地域包括支援センター
  - \*P 2 【事業番号4】 相談事業の充実 【担当課】子ども支援課  
【事業番号7】 男女共同参画の視点で実施する子ども・子育て支援事業計画に基づく子育て事業 【担当課】子ども育成課
  - \*P 3 【事業番号9】 男性の家庭参画 【担当課】子ども育成課  
【事業番号10】 啓発の促進にプラン 【担当課】男女共同参画推進課
  - \*P 4 【事業番号11】 企業への啓発促進 【担当課】契約検査課、男女共同参画推進課
  - \*P 5 【事業番号13】 DV・ハラスメントの防止に向けた取り組みと啓発活動の実施 【担当課】男女共同参画推進課
  - \*P 6 【事業番号17】 関係機関との連携強化 【担当課】男女共同参画推進課
  - \*P 7 【事業番号18】 リプロダクティブヘルス/ライツの啓発 【担当課】男女共同参画推進課
  - \*P 8 【事業番号21】 市民との協働による防火・防災活動の推進 【担当課】地域安全課  
【事業番号25】 学習機会の提供・地域に応じた啓発 【担当課】男女共同参画推進課
  - \*P11 【事業番号35】 地域の役職への女性参画促進 【担当課】男女共同参画推進課
  - \*P12 【事業番号38】 市民活動・ボランティア活動の推進及び支援 【担当課】コミュニティ協働推進課
  - \*P13 【事業番号43】 就労支援 【担当課】商工観光課
- 基本施策ごとの評価(別紙)については、重点事業については特にご意見をいただきたい。この評価を次期施策に反映させるためにも、重点事業以外についての意見もいただきたい。
- 資料(平成30年度・令和元年度 目標と実績の比較)より重点(令和元年度の目標設定)のみ説明
- \*P 1 【事業番号2】 高齢者・障がい者への支援(廃止予定)
  - \*P 2 【事業番号4】 相談を通じた子育て家庭への支援(強化済み)  
【事業番号7】 ワーク・ライフ・バランスを考慮した保育サービスの実施【保育所・認定子ども園】(保育所は1か所開設済み、病児保育施設開設に向け進行)

中)

- \*P 8【事業番号31】メディアリテラシーの向上(担当課と1年を通して協議したが、男女共同参画の視点で実施できないため削除)
- \*P 9【事業番号35】女性役員登用の促進(コミュニティ地区での啓発活動を取組始める)

- 令和元度から新たに取組む事業についての報告。  
女性市長の誕生に伴い、今年度、新たに女性活躍推進事業を取組むこととなり、現在準備を進めている。具体的には、事業の周知として、誰もが知っている名前の方を招いての講演会開催(12月)。様々な分野で活躍されている且つ身近に感じられる程度の方を講師に招き連続セミナーを開催(秋以降5回)。セミナーでは、講演だけでなく質疑応答や意見交換を設ける予定である。  
第3次計画の中には、女性活躍推進の項目を入れ、就業支援を含めた取組みを考えている。詳細については次回お知らせする。
- 宗像市においてもDVの相談が飛躍的に増えているため、昨年度まで非常勤だった女性支援相談員を今年度から常勤にして対応している。  
具体的な相談者数は、平成28年度が約80人、平成29年度が約120人、平成30年度は165人であった。相談回数はさらに増える。行政機関の検討ややり取りを含めると、さらに増えるため、体制を強化している。
- 資料「平成30年度・令和元年度 目標と実績の比較について」は、資料「平成30年実績報告」と連動して次年度の目標と考えて良いのか。
- そうである。

#### (4) 男女共同参画推進懇話会・意見書について

- 確認をしたい。資料「平成30年実績報告」のなかに【事業(数値)目標】とあるが、ほぼ数値目標がない。アクションでどのあたりの達成を目指していたのかが、「こういう行為をします」「こういう行為をしました」という事なのでイメージしづらい。全体的に数値目標というのは具体的に入れ込まない傾向にあるのか。
- 評価しにくいというのは昨年も意見が出たが、現段階では来年の評価まで変更ができない。第3次計画はもっとハッキリと分かる形に変えていく方向で検討している。数字的なものも挙げて評価する指標を明確にし、内容も含め総合的に評価する形に変えていく必要があると考えている。
- 「どういう行為をして、どういう変化を生み出すのか」という目標を明確にし、数値目標を入れれば、行為だけで終わらず目標に近づきやすいので、重要な箇所には数値目標がついている方が具体的に変わっていくように思う。
- そのような形で進めたいと考えている。
- 懇話会評価A~Dを入れるにあたっては、あくまで平成30年実績のみで評価するのか。それとも令和元年の目標も見据えた上で評価するのか。
- 評価については平成30年度実績のみでお願いします。
- 平成30年度実施の内容的には、女性の向上に対する事がたくさん掲載されており素晴ら

しいものになっているが、それに対する実績が足りてないように思う。懇話会は評価するだけでしかなく、懇話会として何も動いていないので、もっと動きたいと考えている。特に地域コミュニティ関係になると、私が女性役員として参加してみて感じているのは、仕切っている役員は年配の男性が多く、男女共同参画が浸透していないということである。もっと地域コミュニティに出向き、男女共同参画について勉強会を開くなどしていかないと変わらない。私の地域では区長がコミュニティを仕切っているので、男性が出来る仕事ばかりを考えるため、女性が参加出来ず「男性でするからしなくて良い」と言われ終わってしまう。女性は必要ないと言われているように感じている。

- 懇話会が何もしていない事はない。市の事業は何もしなければ変わらないが、懇話会が進行管理をチェックすることで、市が新しい取り組みをして変わっていく。その証の一つが、男女共同参画推進課が地域に出向き啓発するというのも、懇話会等で課題が浮かび上がり、それを解消するにはどうしたらよいかを考えて行動している。懇話会での意見が市の男女施策にとっても大きく影響している。
- 継続的に行われているから進歩しているところもある。若い男性は理解している人が多いと感じている。70代以降の男性は認識が薄いと思うが、50代以下の男性は女性を思いやり、子育てを手伝っている人が多いと思う。50代以下の人に浸透しているのを見ると継続して取り組んでいる事は間違っていないと思う。
- 補足。地区コミュニティ回りの中で、漁村地区は歴史的背景もあり、考え方が基本的に違うと感じた。今年から3地区ずつ祭り等に参加するがその内の1つに挙げている。男女課では、今までのような通り一辺倒な啓発の仕方ではそういった地区には通用しないと考え、やり方を少し変えて啓発しようと検討している。
- 地域によって話し方は違うと思う。
- それを変えて行こうというのが、地区コミュニティを回るという事なので、「どの辺りで困っている」「問題点はここ」など個別に聞いて啓発の参考にしたいと考えている。
- 懇話会に参加して、地区の事を聞いて「やっぱり変わらないのだな」と感じていたが、段々と目標も具体的な数値も入れ込まれるようになり、徐々にだが変わってきたように実感している。70代以上の方の認識を変えるのはとても難しいと実感しているので、後は若い世代の方が徐々に上がって来るのを待つという方法もあるのではと感じている。しかし、懇話会の意義はすごくあると思う。気が付かないうちに徐々に浸透していけば良いのではと考えている。
- それは出来て来ていると思う。漁師町は男性が強いが、それでも若い男性が変わってきたのは感じているので、継続して取り組むことで、少しずつ浸透して来ているのは大事な事と思う。しかし、人生100年の今、70代80代の男性が地域コミュニティでバリバリやっているの、そういう人にも女性の地位向上もためにも取り入れて考えて欲しいと思っている。そのためにも、もっと地域コミュニティへ出向いて勉強会を開くべきと考える。
- むなかた男女共同参画協議会では、男女共同参画推進課と共同で色々な講座等を行うようになり、少しずつ変わってきている。リーダー研修も昨年開催した。今年も何か一緒に行うのかもしれないが、少しずつ変わってきている。  
一足飛びには出来ないが男女課もすごく努力し、少しずつ変わっていると感じている。日の里地区は毎年勉強会を行っている。勉強会には自治会長にも参加してもらい、男女課の

説明を聞いてもらう等、地道な活動をしている。男女課には勉強会への参加や視察の同行をしてもらっている。本当に少しずつだが変わるのでないかと期待している。

漁村地区も自分たちで男女共同参画の勉強会や講座を開いてはどうだろうか。参考だが、あすばるの館長は交通費程度で来てくれるので、講師に招き講座を開くことも出来る。

#### 4 その他

※特に無し

#### 5 事務連絡

- ・ 懇話会議事録について…次回会議で承認  
…要点筆記で作成。完成次第送付するので、確認を。
- ・ 次回日程について…後日、日程調整を送付

#### 次回予定

第2回宗像市男女共同参画推進懇話会（9月予定）

議事録署名人 宗像市男女共同参画推進懇話会 委員

山 尋 照 七 印